

1971年8月7日第3種郵便物認可(毎月6回)1の日・6の日

2010年7月12日発行SSKA増刊通巻第6964号

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより

2010年7月12日発行〔第83号〕

第25回定期支部総会・支部設立25周年記念講演会特集号



映画「桜田門外ノ変」オープンセット《水戸市千波公園》

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒301-0856 : 茨城県龍ヶ崎市貝原塚町3552-6

TEL/FAX : 0297-64-3546

郵便振替口座 : 00300-4-38042

Eメール : s59830@ac.auone-net.jp

目 次

1. はじめに	—— 支部長を引き受けて ——	3
2. 第25回定期支部総会報告		4
(1) 第25回定期支部総会議案書		4
(2) 茨城県支部設立25周年総会に寄せられた祝電・メッセージ		13
(3) 総会に出席できなかった方々の近況報告		15
(4) 総会に出席した方の感想		19
3. 支部設立25周年記念旅行		21
4. 全国パーキンソン病友の会第34回総会・大会参加報告		22
5. 平成21年度第2回県南地区交流会報告		24
6. 第4回友愛活動日立パーキンソン病患者交流会報告		27
7. みんなのひろば		29
(1) 文芸コーナー・川柳		29
(2) エッセーコーナー・二人だけの散歩		30
(3) 思い出コーナー・一枚の写真		31
8. 事務局だより		35
9. 編集後記		36

1. はじめに

—— 支部長を引き受けて ——

茨城県支部長 植本 泰久

このような大役を引き受けるに当たり、身の引き締まる思いがします。さて昨年の政治は自由民主党から民主党を中心とした政党に政権交代が行われました。全国パーキンソン病友の会としては、本部が中心となり難病対策の前進を願って活動をしてきました。

厚生労働省の難治性疾患克服事業の予算案は前年度の100億円が確保されましたが難病に対する体制が今後どうなるか見届ける必要があります。

医療面を見てみますと、パーキンソン病はいまだに原因がわからず、根治治療法の確立されていない難病ではありますが、近年遺伝子治療の研究が進んでおり、大きな期待がされています。

また、最近の新聞によりますと『若年性パーキンソン病』は脳内物質である「ミトコンドリア」との関係である事が判明したなど、希望の持てる事もあります。

骨折や盲腸などの急性疾患の多くは、薬物治療や手術など、医療機関での治療で対処できます。しかし長い経過をたどるパーキンソン病のような慢性疾患の場合は医療的な治療だけではなく、患者自身が自分の病気を管理する「セルフマネジメント」（自己管理）が重要となります。

病気とうまく付き合い、自分らしく日常生活ができるように、自己管理について学習することが大切となってきます。

茨城県支部では友の会設立を行った清水前支部長が、設立以来24年間の長期にわたり会を推進してきました。その中には会運営の“ノウハウ”がありますのでこれらを踏襲していきます。

またその反面、長期のために起こる“マンネリ化”の現象もありますので、これらに対しては、役員の方々と検討し、よく考えて進めていきたいと思っています。

2、第25回定期支部総会報告

(1) 第25回定期支部総会議案書

第 25 回定期支部総会次第

◎ 物故者に対し黙祷

- 1、開会の言葉
- 2、支部長代理挨拶
- 3、来賓挨拶
- 4、祝電・メッセージ披露
- 5、議長選出
- 6、議事
 - 《第1号議案》平成21年度活動報告
 - 《第2号議案》平成21年度一般会計決算報告
 - 《第3号議案》平成21年度特別会計決算報告
 - 《第4号議案》平成21年度会計監査報告
 - 《第5号議案》平成22年度活動方針
 - 《第6号議案》平成22年度一般会計予算
 - 《第7号議案》平成22年度特別会計予算
 - 《第8号議案》平成22年度支部役員選出
- 7、議長解任
- 8、新・旧役員紹介と挨拶
- 9、事務局から連絡
- 10、閉会の言葉

《第1号議案》

平成21年度活動報告

平成21年11月29日に、清水昇勝支部長が急逝されました。支部設立以来24年、まもなく25年という長きにわたり、茨城県支部を支えてこられました。

そして急に私、植本が支部長代理という立場でそのあとを引き継ぎました。

さて、去年は自由民主党から民主党に政権交代が行われました。

厚生労働省の2010年度政府予算案が12月25日に発表されました。

難治性疾患克服研究事業は、当初21年度の100億円を下まわる75.5億円の概算要求でしたが、患者会ほかの要望が強く、前年並みの100億円が確保されました。

このような中で難病に対してどのような体制がとられていくのか、しかと見届ける必要があると思います。

皆様方も今後の政治について見守っていただくではありませんか。

[1] 21. 4.14

「世界パーキンソンデー」に国会請願を行い、厚生労働省と交渉をした。

[2] 21. 6.17～18

全国パーキンソン病友の会総会・大会が富山県で開催された。

[3] 21. 6.21

茨城・栃木県の合同パーキンソン病フォーラムが結城市で開催された。

[4] 21. 9. 6

県南地区の患者・家族の交流会を龍ヶ崎市馴柴公民館で開催した。

[5] 21. 9.10～11

全国支部長会議が南青山会館で開催された。

[6] 21. 9.27

パーキンソン病市民講座が水戸のホテルテラスガーデンで開催された。

[7] 21.10.18～19

一泊の患者・家族交流会を筑波グランドホテルで開催した。

[8] 21.11. 9～10

関東ブロック会議が群馬県榛名温泉で開催された。

[9] 21. 11. 29

県央・県北の患者・家族の交流会を県福祉会館で開催した。

[10] 21. 12. 13

臨時役員会を行い支部長代理を決め、当年度の体制を決定した。

[11] 22. 1. 30

25周年記念総会の準備としてポスター、ビラを作成し保健所や病院に依頼した。

[12] 22. 3. 7

第2回目の県南地区の患者・家族の交流会を龍ヶ崎市馴柴公民館で開催した。

[13] 茨城県難病団体連絡協議会との関係

(1) 21. 5. 10

第27回総会が行われた。

(2) 21. 12. 17

県と懇談会が実施され、支部として病院のベッド数確保の要望をした。

[14] 次のとおり友愛活動を行った。(役員が応援をした。)

(1) 21. 5. 11

第2回「日立パーキンソン病患者・家族の交流会」が開催された。

(2) 21. 11. 5

第3回「日立パーキンソン病患者・家族の交流会」が開催された。

[15] その他の活動

支部役員会開催		支部だより発行	本部会報発行
4. 11	11. 1	80号 4. 26	116号 4月
4. 26	12. 13	81号 6. 4	117号 8月
5. 16	1. 30	82号 12. 8	118号 10月
7. 19	2. 21		119号 1月
9. 13			

《第5号議案》

平成22年度活動方針

- 1、保健所、病院、マスコミ等を通じて未加入潜在患者の発掘につとめると共に、一般社会にパーキンソン病の啓発、宣伝を行います。
- 2、人と人の絆を大切にし、友愛活動を活発化させ遠隔地の方々にも参加を呼びかけます。
- 3、県央、県北、県南の地区別活動の推進を計ります。
- 4、全国パーキンソン病友の会、茨難連等との連携を深めます。
- 5、友の会茨城県支部設立25周年を記念して、記念講演会および記念旅行等を行います。
- 6、支部会報の充実を計ります。
- 7、病気を理解し、学ぶ姿勢を持ち、自分らしい生活を送り、人生を明るく楽しく有意義にするよう支部の運営を行います。

《8号議案》

平成22年度支部役員選出名簿

役 職	区 分	氏 名	住 所	担 当
支 部 長	○	植本 泰久	龍ヶ崎市	県南地区
副支部長		鹿志村 悟	水戸市	県央地区
副支部長		寺門 正次	那珂市	県北地区
事務局長		植本 純代	龍ヶ崎市	県南地区
事務局員	○	清水 晴美	石岡市	県央地区
事務局員		綿引 義男	笠間市	県央地区
事務局員	☆	松井 正弘	日立市	県北地区
会 計		宮本 雅夫	ひたちなか市	県北地区
監 査		宮部 和克	水戸市	県央地区

○ : 茨難連役員

☆ : 新役員

(2) 茨城県支部設立25周年総会に寄せられた祝電・メッセージ

①全国パーキンソン病友の会 会長 斎藤 博 様

25周年の記念すべき2010年総会の開催、おめでとうございます。昨年は長年支部長を努められた清水昇勝様の突然のご逝去を、会一丸となって乗り越えられてこられたことに、深く敬意をあらわすものであります。

現在、全国友の会は46支部が1万人に会員を拡大する運動に取り組んでいます。茨城県でも会員増強運動を前進させてください。

今年6月に大阪で開かれる第34回総会では、「一般社団法人」になる予定です。パーキンソン病を国民に知っていただく機会になると確信しております。特定疾患治療研究事業に認定される患者は、毎年約5,000人増加しております。患者数が多いから、ということでこの事業から外されることのないよう、全国的に運動していく必要があります。みんなで団結して頑張りましょう。

本日は茨城県支部の発展の新たなスタートとなりますよう、25周年総会のご成功をお祈り申し上げます。

②千葉県パーキンソン病友の会 会長 米谷 富美子 様

茨城県支部の皆様、設立二十五周年おめでとうございます。記念すべき日に新茨城県支部長さんの誕生とのこと、重ね重ねお喜び申し上げます。茨城県支部のますますのご繁栄を祈念し、お祝いの言葉といたします。

③パーキンソン病友の会熊本県支部長 上村 清春 様、外一同 様

全国パーキンソン病友の会茨城県支部の設立25周年まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

植本新支部長のもと今後益々のご発展をお祈りいたします。

④全国パーキンソン病友の会 長野県支部長 日向 信佳 様

植本新支部長のもと、全国パーキンソン病友の会茨城県支部が創立25周年を迎えられたことにたいして心よりお祝いを申し上げます。

貴支部は常に中心的存在、前会長の出身地で友の会をリードして今日の業容をつくられた功績は誰もが認めるところでございます。

新支部長は本部事務局を永年勤務し、実務を積んだ数少ない実力のある方です

前政権により培われた政党との関係の見直し、法人化の問題、会員数の増強、特定疾患の法制化、またしいては、この病気の根治を願う会員の強い気持ちに一步でも近づくよう最善のお力を最後にお問い合わせ致してお祝いの言葉とします。

⑤北海道札幌支部 元事務局長 山本 富子 様

25周年おめでとうございます。

一口で25年と言っても私達患者にとっては、長い厳しい闘いであったと思います。

突然亡くなられた支部長清水さんは、さぞ無念であったと思います。共に活動した仲間としては、残念でなりません。本部役員また全国代表として活動した頃の清水さんを思い出して涙が出ます。

体調不良の時でも体のあちこちサビオをして参加した時が数多くありました。そばに付き添う奥さんも嫌な顔もせず共に努力されていた事が目の前に浮かんで来ます。

清水さんを忘れては、友の会の発展はありません。どうぞ皆様共に手を取り合い実り多い総会であります事をお祈り致します。

(3) 総会に出席できなかった方々の近況報告

《返信はがきから》 [順不動]

◎いつもお世話になりましたありがとうございます。
とうございます。

私事で申し訳ありませんが、欠席
させていただきますのでよろしくお願ひ
申し上げます。

《小美玉市・N》

◎外出不可です。

《つくば市・S》

◎小刻み歩行、バランスを欠いた歩
行、突発性の眠気、等の症状があり、
リハビリを続けております。

《守谷市・N》

◎ベットから車いすへと云う生活が
続いています。少しでもリハビリを
して歩ける様になるといいなと努力
していますが。

《水戸市・Y》

◎ご連絡ありがとうございます。な
かなか出席できず申し訳ございませ
ん。

《牛久市・Y》

◎昨年の交流会では、大変お世話に
なりありがとうございました。病気
の方はだいぶ安定しています。

三月にはバスツアーに参加するこ
とができました。以前のような生活
が少しずつですが出来るようになりました。
お返事遅くなってすみませ
んでした。

《つくば市・K》

◎腰痛がひどく欠席いたします。

《日立市・Y》

◎いつもお世話様になります。

4月になっても天候が不順です。
暖かな日は午後から体調が良くなる
のですが、寒い日は一日動きが悪く
なります。低気圧が関係するののでし
ょうか？

《牛久氏・Y》

◎①足のフルエ

②痛み

③移動困難

《日立市・Y》

◎生憎と親戚の祝い事と重なり、出席出来ません。皆様に宜敷くお伝え下さい。

最近は一寸体調不調ですが、何とか頑張っています。会員の皆様によりしくお伝え下さい。

《取手市・N》

◎身体調子がわるくいつもすみません。

《龍ヶ崎市・I》

◎腰痛のため欠席させていただきます。

《日立市・O》

◎いつもお世話に成っています。いきたいと思っておりますがいかれません。

私も一人暮らしは無理になって来ました。施設入所も考えています。薬が効いている時間が短くなって来ました。

《笠間市・I》

◎体調が思わしくなく、欠席させていただきます。

《ひたちなか市・Y》

◎法事のために欠席します。

《日立市・M》

◎発病以来23年、病も進み歩けません。

前会長の清水様には長らくお世話に成りました。亡くなられたのも知りませんでした。深くお悔み申し上げます。

《日立市・N》

◎家事都合により欠席します。

《常陸大宮市・S》

◎春特有の不安定と同じく不安定な体調で一日一日を過ごすのも大変な毎日ですが、お世話になる方々に感謝を忘れないように気をつけたいと思っています。皆様もお体を大事にして下さい。

《日立市・S》

◎体調がすぐれず欠席いたします。

《東海村・M》

◎この時期になると春の花が一斉に咲き出すので、気分がすっきりし元気がわきだしてきます。

《古河市・T》

◎田植え準備のため、出席できません。

《結城郡・S》

◎最近、薬の効果が安定しない状況(オンオフ現象?)になっています。

《取手市・A》

◎桜の季節の総会をたのしみにしていたのですが、今年はその時期に前立腺の検査のため、短期ですが入院する予定になっているため、欠席します。

25周年総会が盛会になりますようお祈りいたします。

《取手市・F》

◎いつもお世話になってありがとうございます。ございます。

前向きに元気に過ごしております。4月25日は予定が入ってしまい出席できません。残念ですけどよろしく願いいたします。

《つくば市・H》

◎長い間大変お世話になりました。今回をもって退会とさせていただきますので、有難うございました。

《笠間市・H》

◎先般転んで右股を骨折致しまして腰を打撲して、現在歩行出来るような状況ではありません。出席することが出来ず大変申し訳ありません。

《龍ヶ崎市・E》

◎都合により欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします。

暖かい春に誘われて体を積極的に動かしたいと思います。

《つくば市・W》

◎体調は血圧の変動にて遠くへ行くことが出来ません。歩くことも出来なくなってしまう時がたびたびにて欠席させて下さいませ。皆々様方に宜しくお伝え下さいませ。

《つくば市・G》

◎体調不良のため水戸まで出かけるのは、困難ですのでご了承下さい。皆様方もお体に気をつけてお過ごし下さい。

《土浦市・T》

◎いつもお世話になっております。当日は孫の行事への参加を予定しているため、残念ながら欠席させていただきます。

《筑西市・O》

◎昨初秋肺炎を併発、パーキンソン病の悪化と重なり、幻覚などの症状ますます強くなり体力は弱まり家族の識別もままならない状況で入院、高齢ですので回復は不可能でしょう。

ご迷惑のかけっぱなしで申し訳ありません。よろしく願いいたします。

《つくば市・N》

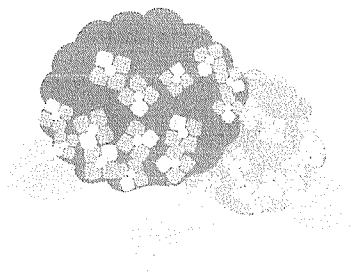
◎いつも大変お世話になっておりますが体調が悪く出席出来ませんが、次の機会を楽しみにしております。

お身体ご自愛下さい。

《利根町・W》

◎いつもお世話になっております。あいにく、当日は他の予定が入っておりますので、欠席させていただきます。

《牛久市・U》



◎急にさむくなったり暖かくなったり、気候の変動に私どもの体もついて行くのが大変です。

今年も今のような状態ならなんとか・・・と思っています。

《龍ヶ崎市・Y》

◎発病してから15年、3年前に手術をした。今は安定している。

今年の冬は温度差が日1日10度も差があるので寒い時はつらい。

当日付添の者がいないので、水戸までは無理なので欠席します。

《つくば市・△》

◎昨21年7月30日散歩中路上で転倒、救急車で日製日立病院に入院くも膜下出血と云うことで2回の手術を受け、多賀病院で6ヶ月リハビリを受け、期限の関係で介護老人保健施設日立南ヘルシーセンターに2月26日に移りお世話になって居ります。車椅子の生活で多少ボケも出て居ります。介護4の認定を受けて居ります。

《日立市・Y》

◎元気でおります。皆様によろしく。会場が近いときは出席します。

《つくばみらい市・K》

(4)総会に出席した方の感想

『定期支部総会』に出席して(1)

日立市 竹内 泰生

私は昨年5月に『友の会』に入会し、初めて定期支部総会に参加しました。一年間の活動状況及び次年度計画について見易く、解り易い議案書を作成された役員・事務局の皆様のお手数は大変だったと思います。

また、各項目について担当役員さんがその内容を詳細に説明され、背景等がよく理解できました。

午後の部は、水戸医療センター神経内科医長の吉沢先生の講演があり、パーキンソン病の発生、病状、

治療薬、日常生活の注意事項等多岐に亘り『25年の歩み』のお話を聞きました。

私は各専門分野で勢力的に取り組まれていることを知り心強く感じました。

更に、先生のお話を真剣に聞かれている皆さんの病気に対する前向きな気持ちが伝わって来ました。

出来れば『聞きたい事の質問時間』を多く取っていただければもっとよかったですと思いました。

『定期支部総会』に出席して(2)

〈匿名〉

4月25日(日)、初めて友の会茨城県支部の総会に出席した。

会場は茨城県総合福祉会館の4階の大研修室。

水戸駅からは交通の便は悪いようだが、明るい色調の大きな建物で、良いお天気も手伝って、さわやかな

気分に参加できた。

前の方の席に座ったので、どのくらいの参加者がいたのか分からないが、患者とその家族の方が役員として不自由な体にも係わらず、しっかりと議事にあたられていて感服させられた。

また熱心なご家族の援助は本当にありがたいことだ。

来賓（茨難病連の会長）の話では少数であろう様々な病気のグループだから力を合わせていきたいという強い思いが伝わってきた。

また、会計報告について、予算額が前年よりだいぶ減っている事への

率直な質問が出され、友の会運営の大変さを実感させられた。

午後は、水戸医療センターの吉沢医師の講演があり、いろいろな症状に対する対策や、対処法が照会され大変役に立つ情報が得られた。是非実践してみたい。



総会風景

3. 支部設立25周年記念旅行

支部設立25周年記念行事の一つである記念旅行は、毎年行っている《一泊患者・家族交流会》発展させたものとの位置付けで行うものです。

これについては以前にアンケート調査を行い、行き先として〔県外の温泉地・栃木方面〕という結果が出ていました。ついでに、この結果は

今回の計画ではこれを尊重して、楽しく安心・安全な旅を計画しています。皆様の沢山の参加を待っています。

今回の旅行は、25年に一度ということで、以下の名前を付けました。

《25周年記念患者・家族の交流会

豪華観光バスで行く

塩原温泉・東部ワールドスクエアの旅

期 日：平成22年9月7日（火）～8日（水）

行き先：塩原温泉・湯守田中屋（途中足湯に寄ります）
東部ワールドスクエア

会 費：14,000円

その他：バスはゆったり座席で、トイレ付きです。
少々躰が心配な方でも安心です。
思い切って参加してみましょ。う。

★参加の有無は同封のハガキで、7月17日必着
で返信下さるようお願い致します。

4. 全国パーキンソン病友の会第34回総会・大会参加報告

第34回定期総会(大阪大会)に参加して

支部長 植本 泰久

はじめに

威容を誇る大阪城に面した「ホテル・ニューオオタニ」で標記定期総会が開催され、代議員として出席しました。少し雨模様でしたが新大阪駅につくと黄色いジャンパーを着た案内の方々が、迎えて下さり、それまで新大阪駅までは簡単ですが、そのあとはどうすればよいのかという心配など全く感じさせない心配りに「さすが大阪」と感じながら、予定通り会場に着きました。

総会について

総会への茨城県からの参加者は、代議員2名を含めて総数7名でした。

1. 会員1万人体制について

潜在患者数は約15万人といわれています。会員数は約8千人という大人数の会だともいわれています。

しかしながら組織率約5%と低

いものです。つまり患者20人に会員は1人の割合です。これでは『患者を代表した会であります。われわれを相手に相談して下さい』とはいえないでしょう。このような状態を改善するためには、少なくとも2万人、いや3万人という数が必要になってきます。その手始めに、“まず1万人の会に”ということではないでしょうか、すばらしい目標であるとおもいます。

2. 会の法人化について

従来から友の会の法人化について検討されてきましたが、会の運営に最も適切なものとして、「一般社団法人全国パーキンソン病友の会」と決定しました。会の運営方法など、ほとんど変わらないという事ようです。こん後、詳細にすすめていく経過をみて支部の会則の見直し等に着手した方がよいと思われま

3. 今年度の活動を推進する母体になる専門部会は、会報編集部会、組織部会、法規対策部会、医療介護部会、調査部会、若年部会、渉外担当、歴史編纂委員会があり、それぞれの活動報告がありました。

交流会について

今回は来賓として韓国の患者会が招かれており、美しい『韓国踊り』の出し物でにぎわった。その反面患者同士の交流の場は少なかったと思われる。

分科会について

2日目の午後に若年性、医療と介護、地域活動の分科会が行われた。特に医療と介護では大阪の会員さん達が智慧を持ちより発表をされ感心した。

講演会について

針灸吉田治療院の先生による『工夫と発想の転換について』と題する講演会があり、講義と実演とで大いに盛り上がりました。

突然ですが、便秘でお悩みの方、ぜひお試しください！

みんなの工夫と知っとく情報

《第34回全国大会から》

1. 玄米食にすると頑固な便秘が治った！

炊飯器で玄米を選択して炊き、さらにお粥にすると高齢者でも食べやすい。

2. 味噌にんにく

美味しくて、お腹が元気になって臭いしません。1日1片、ぜひお試しください。

作り方 にんにくは、ヒタヒタの水に、砂糖・味噌を入れて、鯖の味噌煮くらいの味に煮ます。

3. にんにくの素揚げ

皮をむいたにんにくを素揚げして、味塩を振ると、酒のおつまみにも美味しい。

5. 平成21年度第2回県南地区交流会報告

平成21年度第2回県南地区交流会を開催して

龍ヶ崎市 植本 純代

県南地区では10年以上、龍ヶ崎の馴染公民館で行っています。ここは私の住んでいるところで、無料で会場が借りられ、また借りる時も融通がきき、駐車場が完備し、車に乗れない方も常磐線の佐貫駅から近いこともあり毎回利用しています。

今回の午前中は前回と同じ『癒しの音楽』をやってくださる飯田先生にお願いし、会場にあるピアノで、お話し、生オケ、演奏などで、盛り上げていただきました。先生は患者さんの心理もよくご存知で会員さんも楽しく過ごせたようです。

お昼までの1時間半は楽しくてあっという間に過ぎたようでした。

12時からはお昼のお弁当の時間です。皆それぞれたべられ、終わると知っている方とのお話で、それはそれで情報交換をされていました。

午後からは茨城県立医療大学附属病院のリハビリテーション科に属さ

れ、理学療法士として学生に指導をしながら、患者にも接しておられる増本先生をお招きしました。30分ぐらいリハビリのお話があり、その後は白熱した実技指導を行い、それから個人の相談にも応じて下さって皆様から好評でした。

3月7日(日)のスケジュール	
10:00～10:30	受付、準備
10:30～12:00	『癒しの音楽』
12:00～13:00	昼食
13:00～15:30	県立医療大・増本先生のリハビリ
15:30～15:45	反省会、清掃



平成21年度第2回県南地区交流会に参加して(1)

牛久市 宇野 セツ子

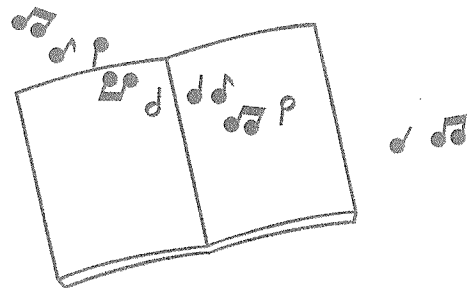
鮮やかなピンクのジャケット、ビートの効いた声、「〇〇さん、私の顔を見て下さい。顔をあげて下さい」とユーモラスな茨城弁で話しかける飯田先生、リズムに乗って路吹雪並みに歌い上げる「ろくでなし」、秋元順子のように情感を込めてとうとうと歌う「愛のままに」、皆さんプロ顔負けの歌いっぷり、これもピアノの生伴奏の威力でしょうか？

「好きな事を前にすると病気にかかる前の時のように、スムーズに何でも出来るんですよ」と以前聞いたことがありましたが、まさにその通りと改めて思いまいした。とてもパーキンソン病を患っている方とは思えない程の皆さんの歌声に感動しました。歌って、ピアノって、すごいこんなにも人を生き生きと変えるんですから。

美味しいお昼のお弁当を頂いた後は、PTの先生の講義と実演、これも皆さんとっても熱心に先生に色々尋ねていました。痛みが残る程頑張

ってやってしまう方、「私の場合はこうなんですよ」とおしゃってくる方にも丁寧に対応して下さいました先生、とにかく皆さん一生懸命でした。

まさに、パーキンソン病の方の性格、真面目で几帳面そのものでした。そんな中で先生のおしゃったことに、なる程とうなずけることばがありました。「人はいずれ老います。老いる事とは、出来ていたことが徐々に出来なくなってくるということです。それを受け入れつつ、出来ることをすればいいのです。決して無理をしてはいけません。そして転ばないことです。」と確かに出来なくななることを受容していくのは、頭では理解しても気持ちが付いていくまでは、時間のかかることです。で



も出来なくなかったことを嘆くよりも出来ることに感謝して前向きに生きていくことの方がはるかに楽しく周囲の方々にも喜びを与えることになりますネ。

この講演会の後に、秋田の実家で父の介護を受けながら頑張っている

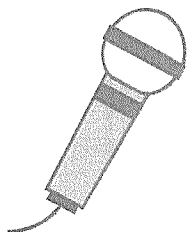
母と、「顔の体操」二人でやりあいながら、お互いの顔を見て大笑いをして帰ってきました。

楽しい講演会を企画して頂きましてありがとうございました。又、皆さんお会い出来ますことを楽しみに致しております。

平成21年度第2回県南地区交流会に参加して(2)

八千代町 服部 恵子

今年度最後の県南支部交流会が去る3月^日に開かれた。いつもの公民館で御前中は音楽療法、ピアノ演奏に聴き入り、あるいはピアノ伴奏により好きなカラオケを歌う人あり、あるいは皆んなで合唱^したり、その合間に先生のトークショーありで楽しいひとときを過ごすことが出来ました。元気な先生に皆さんも元気をもらったのではないのでしょうか。



午後の部はリハビリテーション、パーキンソン^ズ体操について、一通り先生の説明を受けました。その後個人相談に困っている事は人それぞれ具体的に質問を、その場で回答、そして実技ありで最高でした。

こんな素晴らしい交流会を何回も開いていただき、病気の知識も得られたと思います。その上で病気と向き合い対処していく今の私があるのもこんな勉強会のお陰と考えております。いつも素晴らしい先生をお招きしていただき、支部長さんのお骨折りに感謝しております。

これからもどうぞよろしく願い申し上げます。

6. 第4回友愛活動日立パーキンソン病患者交流会

交流会を開催して

日立市 松井 正弘・妙子

4回目の友愛活動日立パーキンソン病患者交流会を5月21日に開催した。今回の参加者は、患者・家族が30名、ゲストとして日立市議会議員の椎名あつし様、薬の講演をいただく東金沢薬局の鈴木勝俊先生、友愛活動の一環として県支部から役員6名そしてボランティア3名の全員で40名を超えた。毎回参加者が増えるのは嬉しい事である。

交流会は、まず新しく県支部の支部長に就任した植本泰久氏の挨拶から始まり、次いで椎名あつし議員から、「何か協力することが有りましたら言って下さい」「また、いつでも呼んで下さい」との力強い励ましのことばを頂いた。

役員の水清晴美（前支部長夫人）さんには、25周年記念CDを写しながら、支部設立当時からこれまで24年間の思い出話をして頂いた。たんとんと話されてはいたが、清水さんはじめ当時の役員さんのご苦労

を思うと、胸が詰まる思いでした。

東金沢薬局薬剤師の鈴木勝俊先生には、誰もが一番感心のある薬について話を頂いた。パーキンソン病と薬との関係について、分かりやすく懇切丁寧な説明は、先生の誠実な人柄によるものでしょう。初めての方でもよく理解されたようです。ありがとうございました。

また、初めて司会をお願いした山崎博士様ご苦労様でした。

支部役員、ボランティアの皆様、そしてご参加の皆様のご協力により今回も有意義な会とすることができました。感謝致します。



日立パーキンソン病患者交流会に参加して

日立市 根本 伊久子

このたびは、途中からの参加でしたが、薬のとり方、副作用のお話し、とても参考になりました。

鈴木先生の心のこもった説明に心より感謝致します。ありがとうございました。

「パーキンソン病友の会」に参加して

日立市 助川 昌子

新聞で、パーキンソン病友の会がある事を知り、初めて参加しました。母が、認定されて4年がたとうとしています。私は、今まで母以外のパーキンソン病の方に、お会いした事はありませんでした。

主治医の先生に伺っても、「一人一人違うので・・・」と話され、分からない事が多い中、父が母を看ています。男の方が話されている姿と父が重なって見えてしまいました。

同じ病気をかかえた方々に、お話を聞いたり、工夫されている事などに感心したりと、暗い部分ばかりではないのかもしれない・・・。と本当に少しですが、気持ちが前向きになれそうな出会いだったと思っています。

ます。

【追記】

皆様にお会いできて良かったと思います。私の中で、母の病気に対してどうして良いのか分からない・・・。

病気の本人が一番つらいのでしょうけれど、周りの人間も気持ちを強く、又少しでも明るい気持ちを持たなくては、毎日の事ですから大変だと思います。

皆様のような病気に対する受け入れ方が、まだまだ私には無理だな・・・。と思いますが、少しでも一歩ずつでも前に進めたらと思います。

本当に、これからも色々な機会に参加できたらと考えています。ありがとうございました。

山 柳

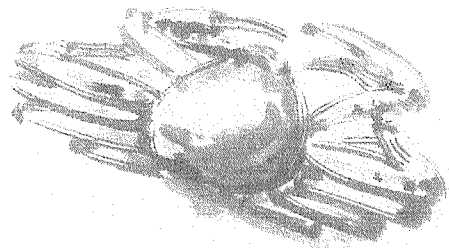
文芸コーナー

日立市 黒澤 正明

愛の字に喜怒哀楽が潜んでる
長打より内野安打で生きている
古稀に着き歳を忘れたふりをする
少子化の仲間をさがす鯉のぼり
新しい日本を背負うランドセル
静かだな蟹を食べてる妻の顔
綿飴に顔をうずめる夏祭り

日立市 河野 隆童

薄味になれて刺激が欲しくなる
戒名の字数で決る仏の座
背の低い分だけ声を張り上げる
厄除けの祈祷にもある並と上
窓開けてマツタケご飯炊いている



エッセーコーナー 二人だけの散歩

水戸市 宮部 知克

好物である柏モチをお土産に、私は妻の半そでの下着を持って、入所している施設へ面会に行った。妻のお世話になっている障害者支援施設は施設入所五十二名と、短期入所六名、それにデイサービスを利用する方など、身体にいろいろな障害を持っている仲間が、生活支援員の方々と一緒に生活をしている。

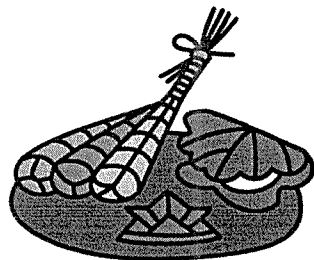
入館票に記入し、少し廊下を進むと妻の部屋がある。部屋に入ると、妻は車椅子に乗ったままナースコールを手元においてテレビを見ていた。これが比較的体調の良いときのスタイルである。私の姿を見るとすぐにテレビを消して、ニコニコしながら「いらっしゃい」と迎えてくれた。軽い振戦はあったものの元気そうな妻の顔を見て、私もひとまず安心した。妻は、孫たちの話をする時が一番うれしそうである。勿論部屋には三人の孫達の写真が飾ってある。窓からカーテン越しに入る午後の陽を心地良く受けながら、私達はしばし楽しい一時を過ごしていた。

そんな時「利用者の皆さん、お茶の時間ですよー」との支援員からの

アナウンスがあった。早速柏モチを取り出してそれを小さくちぎり、私は妻にたべさせてあげた。咽に詰まらせては大変なことになるとの思いから私はいつもそうしている。しかしあまり小さくすると問題が起きるのである。「鶏のエサじゃあるまいし、そんなに小さくしないでよ!、せっかくの柏モチの味がわからなくなる・・・」とブツブツ文句を言うてくるのだ。

そんな妻も腹いっぱいになったのか、「お父さん、少し散歩しない？」との事。私は車椅子を押しながら、施設の庭をゆっくりと散策した。風もなく穏やかな五月の午後である。

花壇には色とりどりの沢山の花が実に綺麗に咲いていた。「綺麗だねー」と言いながら、愛おしそうに見ている妻の横顔に、どうか妻の病気がこれ以上進まないようにと、いつしか心の中で強く祈っていたのである。



思い出コーナー

一枚の写真

石岡市 清水 晴美

今年は天候不順で寒い日が続き、やっと桜の花を見て暖かくなってよかったと感じ、夫のいなくなった現実には気づきはじめました。

茨城県パーキンソン病友の会を創立した頃は、水戸の県民文化センターの隣りにあった社協で役員会を開いていたのでよくこの桜並木を通ったことを思い出します。はじめはゼロからの出発で弁当を買うお金もなく、皆さん持ち寄りで分け合い楽しい思い出になって居ります。

あれから24年が過ぎ沢山の方に助けられ、先日25周年記念総会が終わりました。

夫は昨年の総会后、来年は25周年記念総会にCDを作るための準備にかかり、今までの会報で紛失したものもあり、会員さんからお持ちの方にはお借りしたいとお願いして、きれいに保存して会報を送って頂き、それでも揃わなかったものもあ

りましたが、皆様のご協力で何とか見通しがつき、これから役員さんと話し合い記念のCDを作る予定でしたが、11月の末に突然亡くなり、CD作成に最後まで携わることが出来ず残念だったと思います。

編集して下さった木村さんは、前からの知人で20年前につくばのノバホールピアノデュオもお世話になった方です。何でも会の事はご存知で、大子の袋田の滝や茨城県内の写真を撮りに行き集めて下さり、会報の1ページずつスキャナーで取り、頑張り難病患者日本1周激励マラソンの写真、小平賞の写真も入れましょう、2月頃一泊の交流会、集合写真も入れますので出して下さいと言われ、アルバムから剥がしてお願いし、ふれあい音頭も入れましょうと最後に入れて下さり、作成していただきました。その中に場違いな我が家の地鎮祭の写真を見たとき、

間違って入ってしまったのかと思いましたが、わかりました。夫はパーキンソン病を30歳代で発病し、会社が東京のためラッシュの中30年間通いました。駅まで2キロ位のため自転車で行っておりましたが、バイクに変えそれも危険になり、最後の5年間は私が車で送迎しておりました。

顔や手は何時もカットバンで傷を押さえ、何事もなく帰れるよう祈りの毎日でした。ある朝、駅に送って家に着いたら、駅から電話で「ご主人が怪我をしたのですぐ迎えに来て下さい」とのこと、行くと転んで顔を切り傷を押さえたタオルが血で染まり、病院が開くのを待って治療してもらい、今日はどうしても会社に行かなければならない仕事があると、11時頃行ったこともあり、真面目な人でした。

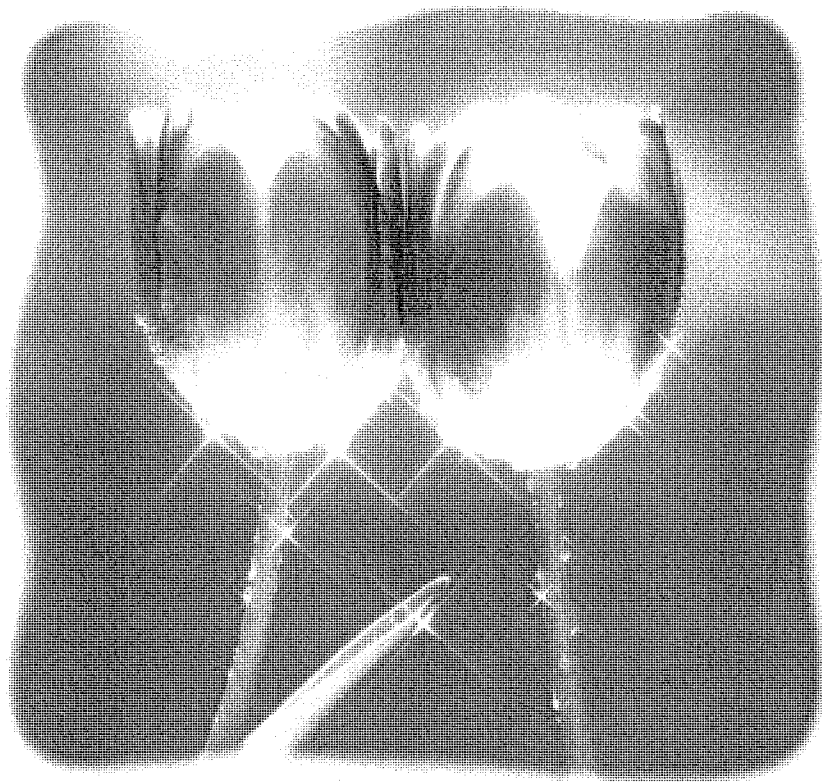
どんどん症状が悪化して定年2年

前、上野駅で帰宅する電車のレールのところで転び、顔に16針縫う怪我をし救急車で運ばれ、それから一人で会社に行けなくなりました。病休扱いにさせていただきやっと退職することが出来ました。どんなにか辛い思いをしたか私は今気づきました。

夫は、「パーキンソン病でも忍耐と努力で家を建てることが出来た。世間の人に知らせたい」と何時も言っており、あの地鎮祭の写真はその意味が込められたものだと思います。

それにしても、このCDに自分の遺影が入るとは考えてもいなかったはずですが、多くの皆様との出会いがあり、難病の苦しみはありましたが充実した人生だったと思います。会員の皆様には長い間お世話になりありがとうございました。今後も宜しくお願い申し上げます。





患者さんのために
信頼と愛がいっぱいだった

藤本製薬グループ

エフピー

株式会社

【お問い合わせ先】


〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号

TEL:0120-545-427 FAX:0120-728-093

URL:<http://www.fp-pharm.co.jp>

平成22年1月作成

家族の気持ちに、
新しい薬でこたえたい。

 大日本住友製薬



8. 事務局だより

◎平成21年度の入会者及び退会者

《入会者》

氏名	住所	入会月日	氏名	住所	入会日
大和田 藤枝	笠間市	4 / 1	大輪 弘子	行方市	8 / 31
村井 崇浩	日立市	4 / 11	清水 正道	茨城町	8 / 31
竹内 泰生	日立市	5 / 20	加藤 照子	古河市	9 / 11
浅野 初子	石岡市	6 / 24	和田 朱実	日立市	11 / 9
野沢 美津江	小美玉市	6 / 29	関 久男	八千代町	12 / 21
和田 勲	筑西市	7 / 12	山口 照夫	牛久市	1 / 14
飯島 清江	水戸市	7 / 27	額賀 章好	つくば市	1 / 28

《退会者》

氏名	住所	氏名	住所
清水 昇勝	石岡市	稲田 稔	阿見町
石川 美代	水戸市	桜井 芳子	土浦市
森田 昭代	水戸市	飯島 清江	水戸市
野沢 多門	牛久市	飯盛 君子	鉾田市
桜井 政憲	笠間市	葛生 キヨ	筑西市
武井 敏子	竜ヶ崎市	伊藤 新二	取手市
篠崎 啓	筑西市		

◎平成22年度第1回県南地区交流会のお知らせ

日時：7月25日（日） 10:00～15:30

場所：龍ヶ崎市馴柴公民館（常磐線佐貫駅下車、東口徒歩10分）

〔住所：龍ヶ崎市馴柴町21-1、TEL 0297-66-7214〕

会費：1,000円（弁当と少々の茶菓子）

◎県南地区の方には改めて往復はがきで案内します。

その他の地区で参加を希望する人は1週間前までに連絡下さい。

（連絡先：0297-64-3546 植本泰久 迄）

◎平成22年度関東地区卓球大会のお知らせ

東京都支部が現在計画中であり、詳細は決まり次第お知らせします。

◎難病フェスタが11月14日茨城県福祉会館で開催予定

詳細は後日連絡します。

1971年8月7日第3種郵便物認可（毎月6回）1の日・6の日
2010年7月12日発行SSKA増刊通巻第6964号

9. 編集後記

支部設立25周年を迎えた今年の「第25回定期支部総会」は、熱心な審議と、25周年を祝う祝辞や励ましの電報・メッセージ等を頂き盛会のうちに終了した。総会では、昨年暮れに急逝された清水昇勝支部長の後を受けて植本泰久副支部長の新支部長就任が承認され、茨城県支部として新体制のもとスタートを切った。

植本支部長は、『清水前支部長の会運営の“ノウハウ”を踏襲しつつ、“マンネリ化”を防ぐ』と述べており、これまでの豊富な経験を生かした植本流で頑張ってもらいたい。

25周年を記念して企画した三つの行事のうち、一つ目は、清水支部長の置き土産とも言える「25周年記念CD」である。これは支部設立以来25年間のすべての活動がまとめられており、後世に残る貴重な資料である。ぜひ、ご家族とご一緒に見ていただきたい。

二つ目は記念講演である。講師に「水戸医療センター 神経内科医長・吉沢和朗先生」をお迎えし、『パーキンソン病医療25年の歩み』と題する御講演を頂いた。立ち席が出る程の参加者で、内容も大変好評であった。

三つ目は記念旅行である。場所、日程等は決まっており、スケジュールの調整を行っている。これも是非成功させたいものである。なお、参加希望者は7月17日必着でご返信下さるようお願い致します。

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒301-0856 龍ヶ崎市貝原塚町3552-6
TEL・FAX:0297-64-3546

発行者 特定非営利活動法人・障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区砧6丁目26-21
TEL:03-3416-1698 FAX:03-3416-3129
頒 価:500円